

奈良県行財政運営プラン2010

～奈良の未来づくりを一步一步進めます～

経済活性化

くらしの向上

活力ある
産業づくり

健康長寿の
奈良県づくり

観光の振興

教育の充実

県内消費の拡大と
雇用対策

安全・安心の
確保

農林業の振興

くらしやすい
まちづくり

効率的・効果的な基盤整備 協働の推進及び市町村の支援
行政運営の効率化と財政の健全化

奈良県
(平成22年2月)

目次

I	平成22年度の行財政運営の基本方針	・・・	1
II	県政が目指す姿	・・・	2
III	重点的に取り組む政策課題	・・・	3
	<u>経済活性化</u>	・・・	3
	活力ある産業づくり		
	観光の振興		
	県内消費の拡大と雇用対策		
	農林業の振興		
	<u>くらしの向上</u>	・・・	11
	健康長寿の奈良県づくり		
	・健康づくり		
	・医療の充実		
	・福祉の充実		
	教育の充実		
	安全・安心の確保		
	くらしやすいまちづくり		
	<u>効率的・効果的な基盤整備</u>	・・・	23
	<u>協働の推進及び市町村の支援</u>		
	<u>行政運営の効率化と財政の健全化</u>		
	<u>中南和・東部地域の振興</u>	・・・	25

I 平成22年度の行財政運営の基本方針

持続可能な財政運営を維持しつつ、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組みます。

特に今年は、平城遷都1300年となる重要な年であり、この機会を最大限活用するとともに、これを一過性のものとせず、将来の県勢発展に確実につなげていくよう取組を進めます。

[県の取組の5つのポイント]

○県の考えや方針をわかりやすくタイムリーにお示します。(発信力)

・県の考えや方針をタイムリーにお示し、県民の皆様にご理解いただくと同時に、寄せられたご意見を施策に反映させます。

○知恵を絞り効果のあるオリジナルな施策を実行します。(創造力)

・県庁職員各々が知恵を絞り、県民ニーズを踏まえた効果のあるオリジナルな施策の実現に努めます。その際には、国等の予算や制度の積極的な活用を図ります。

○県民は上司との意識のもと、県庁自らが積極的に行動します。(県庁力)

・奈良県のため、地域のため、県庁が率先垂範して心を込めて行動します。

○協働と連携に努めます。(連携力)

・市町村、企業・NPO、地域で活動されている方々等とのさらなる協働・連携に努め、効果的に施策を進めます。

○OPDCAのマネジメントサイクルを着実に実行します。(継続力)

・各種指標による現状分析やニーズの把握に努め、施策・事業を評価し、これらを次年度に活かす行財政運営のマネジメントサイクルの取組を着実に進め、県政の質を向上させます。

Ⅱ 県政が目指す姿

実現すべき課題

- ・「県外で働き、県外で消費する」から「奈良でくらし、奈良で働く」へ転換
- ・県民のだれもが、「奈良はよくなった」「安心して心地よいところ」と実感
- ・来訪者が、何度でも訪れたいと感じる魅力的な奈良の創造

目指す姿

地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る

そのために県は、「経済活性化」と「くらしの向上」を2本柱とし、以下の8つの政策課題に重点的に取り組むこととし、これらを支える「効率的・効果的な基盤整備」「協働の推進及び市町村の支援」「行政運営の効率化と財政の健全化」の取組をともに進めます。

経済活性化

活力ある産業づくり
観光の振興
県内消費の拡大と雇用対策
農林業の振興

くらしの向上

健康長寿の奈良県づくり
・健康づくり
・医療の充実
・福祉の充実
教育の充実
安全・安心の確保
くらしやすいまちづくり

効率的・効果的な基盤整備

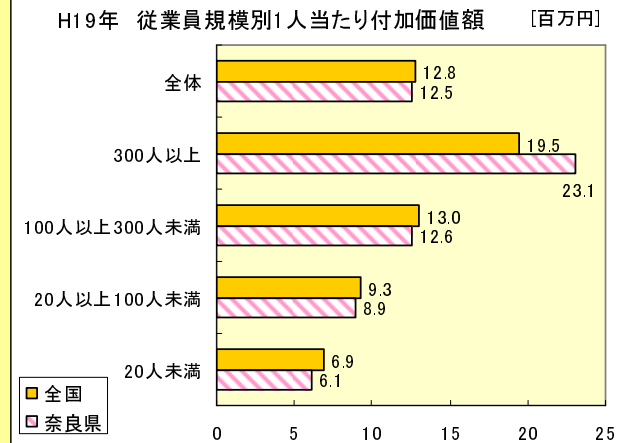
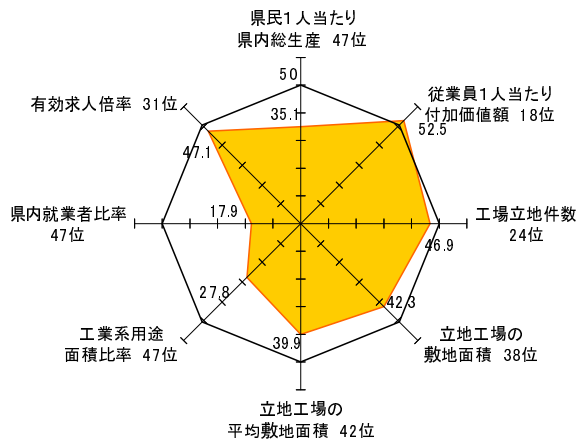
協働の推進及び市町村の支援

行政運営の効率化と財政の健全化

Ⅲ 重点的に取り組む政策課題

経済活性化 [活力ある産業づくり]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

1. 活力ある産業づくりの推進

- ・ 県庁職員の企業・事業所訪問調査等により県内の産業分野全般にわたる実態・ニーズ・可能性等を把握し、産業政策に反映させます。
また、今後5年から10年後を視野に奈良県で成長が見込める産業分野について調査し、実効性のある取組を進めます。
- ・ 先端技術の有する大学、企業等の集積を図るため、奈良先端科学技術大学院大学が中心となって行う先端的共同研究を支援します。



奈良先端科学技術大学院大学

2. 企業誘致の推進

知事トップセールスをはじめとする積極的な企業誘致活動に取り組むとともに、立地用地の確保や幹線道路等のインフラ整備を推進し、新産業の創造や地域産業を伸ばすためのターゲットを絞った企業誘致を進めます。

3. 意欲のある企業への重点支援

本県の産業を牽引するリーディング企業や成長に向けて意欲のある企業を重点的に支援し、県内企業の活性化を図るとともに、競争力があり不況にも強い付加価値型産業の育成を進めます。

1. 活力ある産業づくりの推進

- ・ 県庁力による県内産業の実態やニーズの把握・分析[5]
- ・ 地域経済を支える成長産業についての調査・検討[9]
- ・ 奈良先端科学技術大学院大学が中心となって行う先端的研究を支援[200]



テクノパークなら

2. 企業誘致の推進

○誘致活動の強化

- ターゲットを絞った戦略的企業誘致活動の展開[21]
- 企業立地促進補助金[900 (債務負担行為3,400)]
- 求人サイトへの広告掲載等により立地企業の人材確保を支援[10]
 - ・ 立地企業への低利融資の実施(融資枠20億円)

○誘致に向けたインフラ整備

- 京奈和自動車道(仮称)樞原南・御所 I C 周辺における産業用地調査の実施[69]
- 京奈和自動車道・中和幹線の整備[5,378]、西名阪スマート I C の整備[500]
- 学研高山第二工区におけるまちづくり方策の検討[28]



3. 意欲のある企業への重点支援

○県内企業の活性化

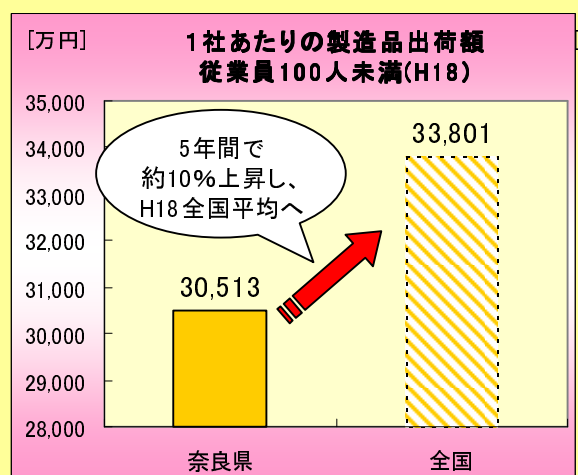
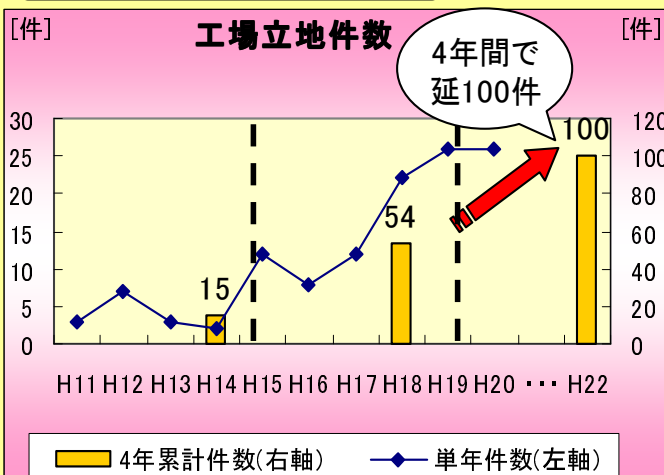
- 奈良発ニュービジネスの発掘・育成[14]
 - ・ 意欲のある県内企業に対する海外(中国)進出支援[2]
 - ・ 県内産業界と学校の連携によるものづくり人材の育成・確保[4]

中小企業の資金需要に対応した低利融資の実施(融資枠620億円)[517(利子補給等)](一部再掲)

○競争力のある付加価値型産業の育成

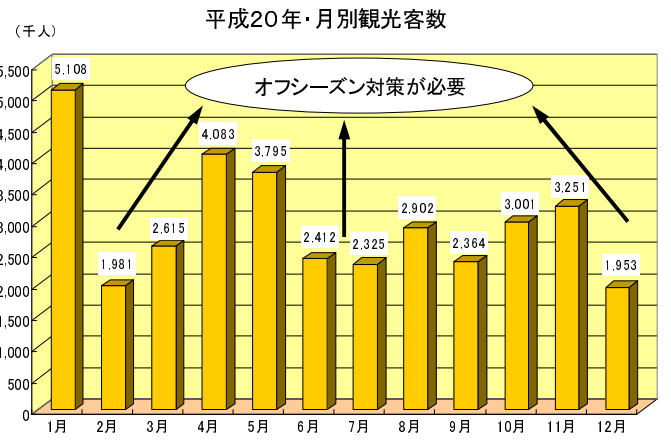
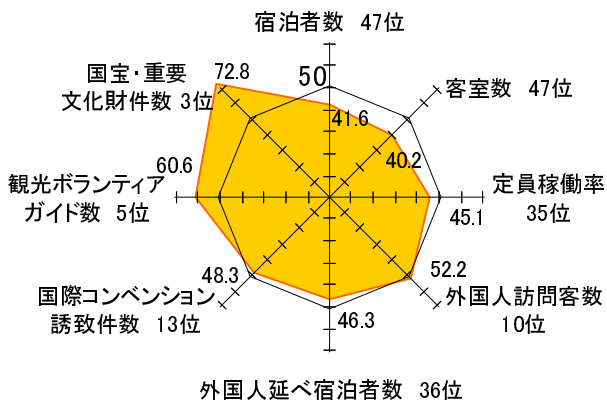
- 意欲と技術のある企業を支援しリーディングカンパニーを創造[11]
- 企業が抱えるニーズを収集し、新産業創出に向けた技術マッチング等を支援[20]

目標に向けた状況



経済活性化 [観光の振興]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

1. 再訪につながる平城遷都1300年祭の展開

平城遷都1300年祭を一過性のものとせず、訪れた方々に奈良の魅力を味わってもらい気持ちよく帰っていただくことで、2010年以降のリピーターを増やし奈良の活性化につなげます。



2. 周遊型観光地としての魅力の向上

「ポスト1300年観光戦略プラン」を策定し、「宿泊力の向上」「交通・周遊対策」「食の魅力向上」「集客イベントの充実」「説明力の向上」「おもてなしの充実」「土産・特産物の充実」の各取組を効果的に進め、観光地としての魅力の向上に努めます。

3. 誘客情報の発信、オフシーズン対策、インバウンドの促進

魅力ある奈良を広く情報発信するとともに、観光客が減少するオフシーズン対策の強化により通年型観光地を目指します。

また、中国や韓国とのゆかり等を活用して、東アジアを中心としたインバウンドの促進を図ります。

4. 観光資源の魅力アップ

世界に誇れる奈良公園に向けて、公園施設の諸整備や公園エントランスエリアの設計等を進めます。

また、明日香での歴史展示に新たに取り組みます。



1. 再訪につながる平城遷都1300年祭の展開

平城遷都1300年祭の開催[3,012]、パーク&バスライドの実施[451]
 記念事業(東アジア地方政府会合開催[155]、・東アジア未来会議奈良2010開催[160]等)
 関連事業(・APEC観光大臣会合開催[143]、全国都市緑化フェア開催[723]等) なら瑠璃絵

2. 周遊型観光地としての魅力の向上

- ・「ポスト1300年観光戦略プラン」の策定[1]
- 宿泊力の向上(県営プール跡地を活用した良質なホテルの誘致[2]、
 ・コンベンション誘致の強化[3]等)
- 交通・周遊対策(奈良公園内道路の一方通行化による快適な歩行空間の創出、
 ・観光周遊バスの運行等[297]、
 ・関空・JR奈良駅直通特急列車の臨時運行[9]等)
- 食の魅力向上(奈良フードフェスティバル(春・秋)の開催[12]、
 ・大和野菜等を活かしたイタリアンなど「美味しい奈良」の創造[6]等)
- 集客イベントの充実(・全国光とあかり祭の開催[16]、
 ・観光列車イベント開催[11]等)
- 説明力の向上(携帯電話等によるユビキタスな観光案内情報の提供[15]等)
- おもてなしの充実(宿泊施設の新規雇用者を対象に「おもてなし」研修を実施[172]等)
- 土産・特産物の充実(・奈良の鹿をモチーフとした商品開発を支援[10]等)



3. 誘客情報の発信、オフシーズン対策、インバウンドの促進

- 誘客情報の発信(・県内主要駅や文化施設等に大型ディスプレイを設置し旬の観光情報
 等を発信[168]、
 ・観光拠点となるバス停で電子情報板による観光・バス運行情報等
 を提供[43]、
 ・「(仮称)記紀のふるさと・奈良」のPR[10]等)
- オフシーズン対策(・魅力ある観光商品の造成[12]、奈良公園光とあかりのイベント・
 冬花火の祭典開催[12]、全国高校ラグビー大会等を活用した宿泊客の誘致[4]等)
- インバウンドの促進(・上海国際博覧会への出展[48]、
 ・韓国忠清南道で開催される大百済典への出展[14]等)

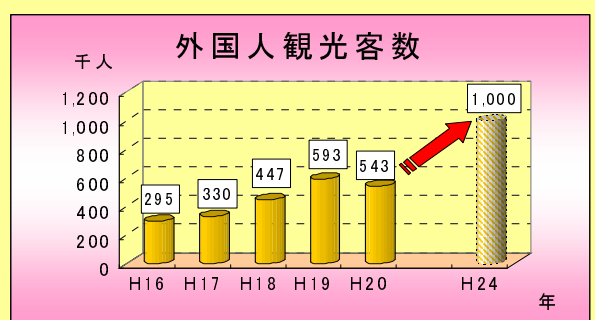
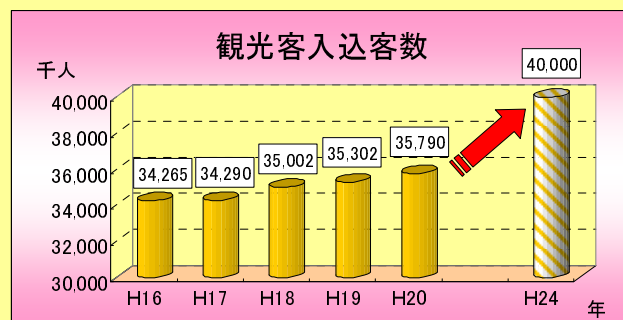
4. 観光資源の魅力アップ

奈良公園の魅力向上(園路等公園施設の整備、公園エントランス
 エリアの設計、飛火野周辺地区の整備基本計画策定等)[680]
 ・史跡・名勝飛鳥京跡苑池の復原に向けた検討・用地取得等[238]



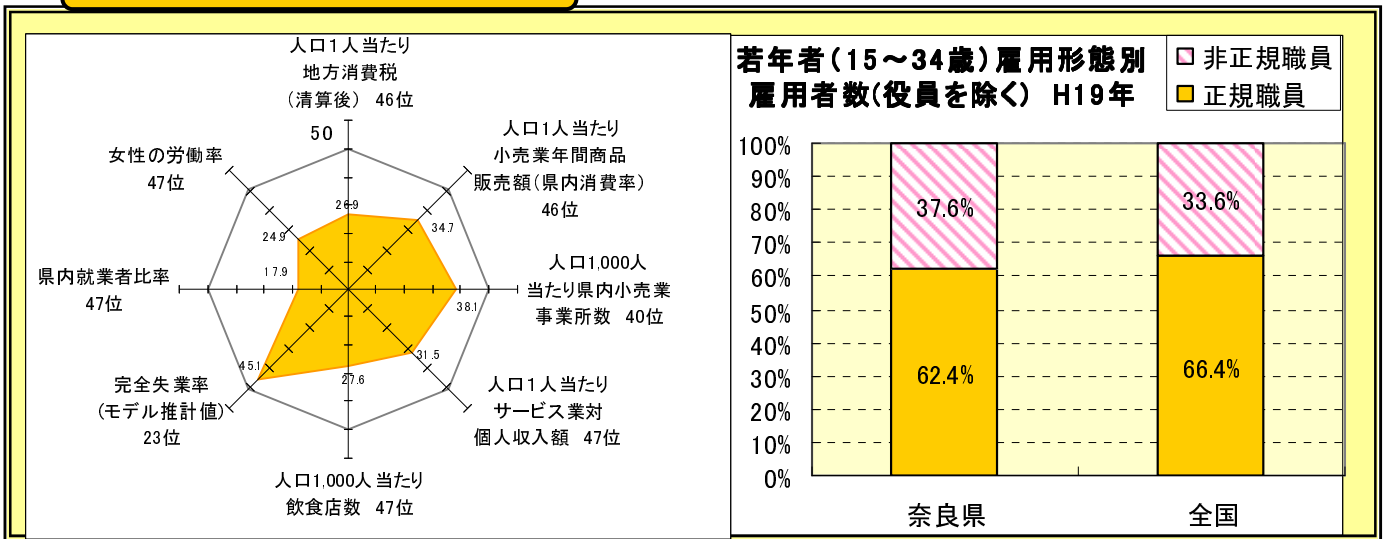
浮雲園地

目標に向けた状況



経済活性化 [県内消費の拡大と雇用対策]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

1. 県内消費の拡大

- ・奈良県版プレミアム商品券を発行し、県内小売業・サービス業等の活性化を図ります。[発行額34.5億円]
- ・やる気と工夫のある商店街活性化の取組を支援するとともに、サービス業の創業・拡大支援、魅力ある商品開発等の取組を進め、地域での消費活動の活性化を図ります。



天理本通り商店街

2. 雇用対策の推進

- ・現下の厳しい雇用情勢に対応するため、緊急雇用対策やふるさと雇用対策により新規雇用の創出を図ります。また、求人・求職のマッチング支援やキャリア形成支援に取り組むとともに、女性や障害者の就業支援を進めます。
- ・県内での安定的な雇用機会の拡大に向けて、企業誘致や経済活動活性化の取組を着実に進めます。
- ・学校でのキャリア教育やジョブカフェの運営などを通して、若年者の職業意識の醸成を図ります。



高校生企業訪問

施策の内容

(百万円)

1. 県内消費の拡大

- 平城遷都1300年記念プレミアム商品券(15%プレミアム)の発行[394]
- 商店街の活性化・サービス業の拡大
 - ・意欲のある若手経営者が取り組む商店街活性化プランを支援[7]
 - ・商店街空き店舗を活用した農産物直売所の開設を支援[3]
 - ・商店街における高齢者等を対象とした宅配サービスを支援[15]
- 魅力ある商品の創出・観光振興による宿泊観光客の増加・消費啓発
 - 「奈良ブランド」製品の開発支援及びプロモーションの展開[7]
 - ・「ポスト1300年観光戦略プラン」の推進による宿泊観光の振興
 - ・県内量販店と連携し県産農産物の地産地消を推進[1]
 - 県外通勤・通学者等を対象とした県内消費啓発の強化[3]



マルシェ&カフェ

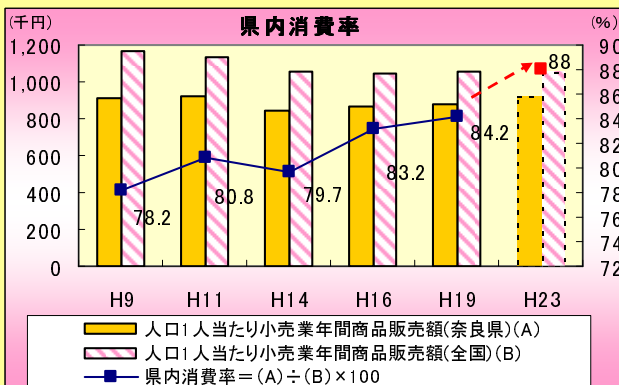
2. 雇用対策の推進

- 厳しい雇用情勢への対応
 - 一時的な雇用機会を創出する緊急雇用対策の実施(県588人 市町村1,086人)[3,072]
 - 継続的な雇用創出に向けたふるさと雇用対策の実施(県352人 市町村96人)[2,026]
 - ・奈良県就職ポータルサイトの開設[5]
 - 多様なニーズに対応した民間教育訓練施設での職業訓練実施[378]
 - ・女性の再就職支援セミナーの開催[1]
 - ・ひとり親家庭や障害者等の就職困難者への在宅就業支援[171]
 - 障害者雇用の促進に向けた企業訪問の実施[25]
- 企業誘致や県内企業活性化による雇用の拡大
- 若者への就労支援や職業意識の醸成
 - 中学生の職場体験教育や高校生「ならの企業魅力体感ツアー」等の実施[23]
 - ジョブカフェや地域若者サポートステーションでの就労支援[1]
 - ・高校卒業後の未就職者や早期離職者に向けた就労支援[1]
 - ・県内企業への訪問による新卒求人開拓等[76]

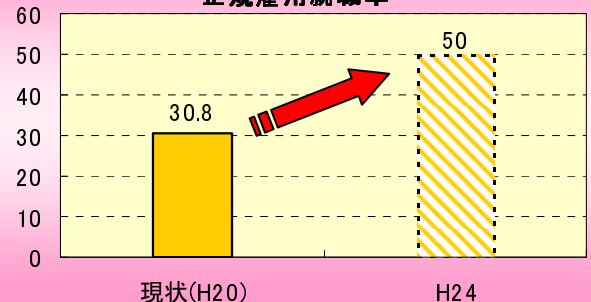


職業訓練

目標に向けた状況



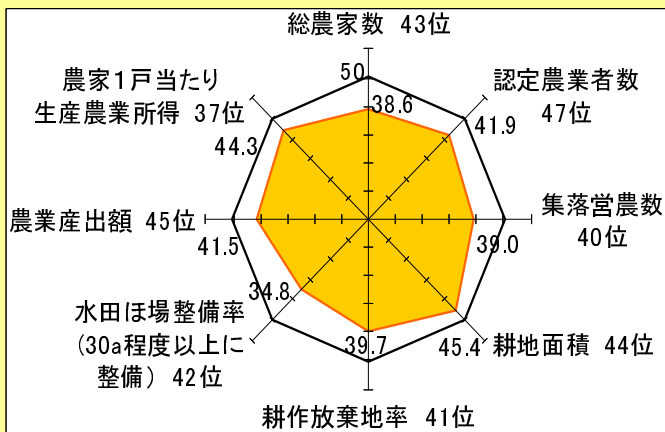
職業訓練修了者、ジョブカフェ登録者の正規雇用就職率



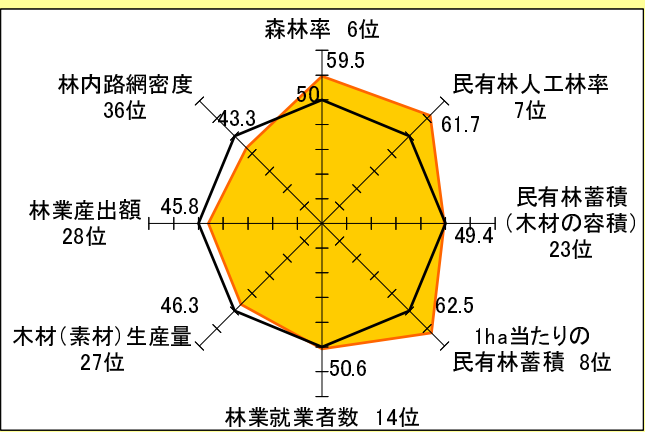
経済活性化 [農林業の振興]

施策ニーズ(課題)の認識

農業



林業



施策の方向性

1. マーケティング戦略に基づいた農産物の振興

生産の拡大、販路の開拓、販売プロモーションの強化等の総合的な取組により、チャレンジ品目、リーディング品目、大和畜産ブランドなどを中心とした県産農産物の振興を図ります。



食博覧会

2. 意欲ある担い手の育成と新規就農者への支援

農業経営に意欲ある担い手の確保・育成を進めるとともに、農業新規参入者にきめ細かな支援を行います。

3. 農地の保全・有効活用

地域の振興と農業とのバランスを図りながら適切な土地利用を推進するとともに、耕作放棄地対策に努めます。

4. 森林の適切な整備と保全

森林の重視すべき機能に応じて「木材生産林」と「環境保全林」に区分し、整備と保全を図ります。



県産木材を利用した住宅

5. 県産材の安定供給と利用促進

生産、加工・流通、販売の連携強化とコストの低減により、県産材の安定供給体制の構築と利用促進を図ります。

施策の内容

(百万円)

1. マーケティング戦略に基づいた農産物の振興

- ・チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア等)への支援[15]
- ・リーディング品目(イチゴ、柿、茶)の産地活性化[19]
- 大和畜産ブランド(大和牛、大和肉鶏、ヤマトポーク、大和なでしこ卵)の販売促進[18]
- ・首都圏等において奈良の食材をPRする「(仮称)奈良カフェ」を開催[2]
- 協定直売所「地の味 土の香」のブランド力を強化[6]



アスカルビー

2. 意欲ある担い手の育成と新規就農者への支援

- 意欲ある担い手を対象とした農業経営のスキルアップ支援[4]
- 産地実践研修等による農業新規参入者の育成[26]
- ・民間企業の新規農業参入を支援[17]
- ・新規就農者の生活安定や熱心な兼業稲作農家に向けた低利融資の実施(融資枠162百万円)

3. 農地の保全・有効活用

- ・奈良県農業振興地域整備基本方針の見直し[1]
- 耕作放棄地の解消に向けた、市町村と地域の協働による多様な取組を支援[国の事業]



大和野菜

4. 森林の適切な整備と保全

- ・「奈良県森林づくり並びに林業及び木材産業振興条例」の制定[県庁力]
- ・条例に基づき森林を「木材生産林」と「環境保全林」に区分[47]
- 森林の機能に応じた整備・保全の推進(森林造成、里山林再生等)[1, 386]



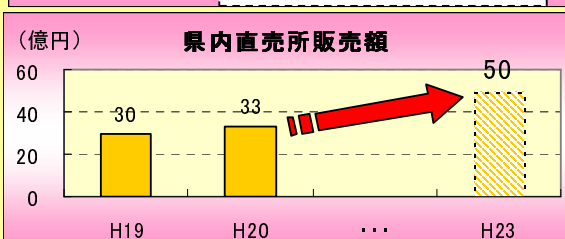
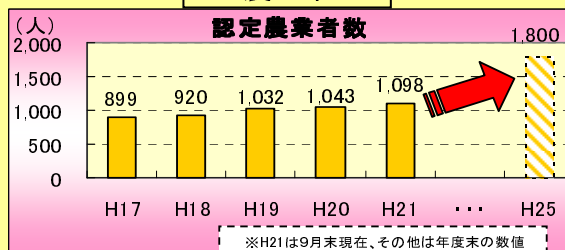
手入れされた人工林

5. 県産材の安定供給と利用促進

- ・県産材流通加工体制の強化に向けた施設整備を支援[446]
- 提案型施業の推進や林内路網整備などによる県産材安定供給の促進[61]
- ・国の住宅版エコポイント制度対象住宅への県産材利用に対し県内商品券を交付[10]
- ・家具のデザインコンペなどによる吉野材ブランドの強化[3]

目標に向けた状況

農業



林業

